

研究課題名	合成 MRI による脳容積およびミエリン量定量を用いたパーキンソン病および神経疾患における画像バイオマーカー研究
研究期間	2026 年 4 月 17 日 ~ 2030 年 9 月 30 日
研究の対象	2020 年 4 月から 2030 年 3 月の間に、広島大学病院脳神経内科で診療の一環として頭部 MRI 検査を受けられた患者さん
研究の目的・方法	<p>研究目的：合成 MRI (SyMRI) で定量化される脳容積およびミエリン量の指標が、パーキンソン病および関連する神経疾患の病態評価・進行度評価・鑑別診断における画像バイオマーカーとして有用かを明らかにすることです。</p> <p>研究の方法：上記研究対象に該当する患者さんの診療録から基本情報（年齢、性別、診断名、発症年齢、罹病期間、臨床評価スコア、併存症、治療内容など）を収集し、MRI 検査で得られた脳容積・組織容積・ミエリン量などの定量値および診療の一環で実施された他の画像検査結果（DAT シンチグラフィ、心筋 MIBG シンチグラフィ、脳血流 SPECT、従来 MRI の所見など）と統合して解析を行います。追加の検査や処置は一切行いません。また、本研究では比較対象として、広島大学倫理審査委員会の承認を受けて実施されている研究「頭部 MRI 検査における神経疾患の特性の検討 (E2023-0201)」で取得された MRI データを、個人を特定できない形で利用する場合があります。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：年齢、性別、診断名、発症年齢、罹病期間、臨床評価スコア (UPDRS、PSPRS、UMSARS、MMSE 等)、既往歴、併存疾患、内服状況、MRI 検査結果 (脳容積・組織容積・ミエリン量指標)、核医学検査結果 (DAT シンチグラフィ、心筋 MIBG シンチグラフィ、脳血流 SPECT の所見) 等</p> <p>試料：血液、髄液 (診療上で採取された残余検体がある場合のみ利用します)</p> <p>試料・情報の管理責任者：広島大学病院 脳神経内科 助教 内藤 裕之</p>
利用または提供を開始する予定日	2026 年 4 月 17 日 (実施許可日以降)
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科 脳神経内科学 教授 丸山 博文</p>

<p>その他</p>	<p>本研究で用いたデータ等は、将来この研究とは別の研究に利用させていただく可能性があります。これを二次利用といいます。二次利用する際は別途倫理審査委員会で承認後、研究機関の長の許可を得てから使用します。将来の研究に使用した場合は、本学のホームページ（人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開） https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx へその情報を掲載し、拒否の機会を保障します。</p>
<p>研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先</p>	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としないので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 脳神経内科 担当者：助教 内藤 裕之 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5201</p>